

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	TX沿線整備住民記録及び戸籍簿等変更事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	03	01	05	52
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）		主管課	市民課				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	鈴木 宏美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	TX沿線整備地区内の戸籍簿及び住民記録	意図	土地区画整理事業地の換地処分にあわせ、新たな土地の名称及び地番に合わせる。
事業内容	・「新市街地地区」、「西平井・鱈ヶ崎地区」、「鱈ヶ崎・思井地区」、「木地区」の字の区域及び名称の変更に伴う住民記録及び戸籍簿の変更のための作業を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	換地処分の時期 「新市街地地区」令和元年5月、「西平井・鱈ヶ崎地区」令和元年9月頃、「鱈ヶ崎・思井地区」令和2年11月頃、「木地区」令和3年9月頃の予定。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	土地区画整理事業施行者、庁内外の関係者との協議を重ね、業務推進のための準備を行った。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・土地区画整理事業の進捗にあわせ、現地調査、住基データの更新、戸籍簿等の更新業務を行う。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			26,769,240	20,865,320			
事業費(b)(円)			21,265,400	2,803,240			
うち一般財源			21,265,400	2,803,240			
職員給与費(c)(円)			5,503,840	18,062,080			
人役・職員(人)			0.82	2.74			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	各土地区画整理事業の進捗状況にあわせ、現地調査、戸籍簿及び住民基本台帳のデータの更新作業を行う。	③取組における課題(Check)	換地処分にあわせ住民基本台帳、戸籍簿の変更を正確に実施する。
②H30に実施した取組(Do)	「新市街地地区」換地処分時期が令和元年5月10日に決定したことから、関係業務の契約を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	各土地区画整理事業について施行者等と緊密に連携し準備を進める。